

シカによるスギ皮食害（芦生の森）



貴重な植生も保護する対策を

丹政クラブ 外田 誠 議員

貴重な財産であり守って行かねばならない **市長**

問 芦生鳥獣保護区は、由良川の源流にある。今秋で10カ年の指定期限切れとなるに当たり、府は更新を地権者に打診されたが反対の声も強いと聞いている。シカ等が増えたために、豊かな植生が破壊され、由良川が濁りやすくなるなど大きな問題となっている。
鳥獣だけでなく、貴重な植生も保護する対策がなければ、地権者の同意は得られないと考えるがどうか。

市長 芦生の森は市の貴重な財産であり守って行かねばならない。指定の是非については地域住民、府、京都大学と十分議論して判断する。
バイオマスの推進を
問 我が国のエネルギー自給率はわずか4%である。今後バイオマスは地球温暖化対策や代替エネルギーとして成長が期待される分野である。市はバイオマスタウン構想を策定したが今後の方針を問う。

市長 国では、バイオマス日本構想が立ち上げられたが、具体化するには、システムづくりや補助等、さまざまな課題があり国にお願いしている。市の関係部局の連携を取りながら努力して行きたい。
広域連携の推進を
問 第4次京都市中部新広域市町村圏計画は、交流や定住人口の増加による地域活力の再生に力点がかけられている。行政改革を行いつつ成果を上げる

には、今以上の広域連携が必要となる。観光医療防災等まだまだ連携を図れる部分はあると考えるがどうか。
市長 本計画の実行性を高めるために研究組織を立ち上げ、ルール作りや提言などを行う。

J R 園部駅東口広場



園部駅周辺の早期整備を

丹政クラブ 森 為次 議員

総合計画の基本計画において位置付けしている **市長**

問 園部駅の利用者は年々増加傾向にある。そのなか西口に比べ東口は周辺道路も極端に狭く歩道もない。特に園部第二小学校の通学路として利用する62名の子どもたちは毎日危険と隣り合わせという現状である。また市の表玄関口として、将来の都市像としてかかせない駅のため、早期な整備計画が必要と考えるが市長の見解を伺う。

市長 現状については十分承知している。JR園部駅周辺整備については総合計画の基本計画において位置付けしている。ただ、今の道路幅で歩道設置は困難であるが、駅前広場、国道9号の取り付け等多くの課題をJRや府と協議し、早期に実現出来るよう努力したい。
「守る」から「攻める」への有害鳥獣対策について
問 稲などの作物は年々自然災害よりも鳥獣災害に悩まされている。府・市では多くの予算を計上して対策しているが鳥獣

の増加により根本的な解決に至っていないのが現状である。府ではシカの特定保護計画での対策、また、国では今年有害鳥獣に関して法律が制定された。市としては一集落単位から広域的な防止総合対策として「取れる」から「取る」「守る」から「攻撃」の取組みが必要と考えるが、市長の見解を伺う。
市長 市として積極的な取組みをしてきたが、まだ根本的な対応課題の解

決には至っていない。今後国の特例法の5年間の間に受益者負担を軽減し、市の鳥獣防止計画を策定し、関係各位と協議し法律を最大限活用し前向きに努力していく。

南丹やぎの花火大会



商業振興支援策は

丹政クラブ 橋本 尊文 議員

商工会と連携を密に努力を **市長**

問 市の商業疲弊化は顕著となり、過去5年間で商工会員数は14・1%減少している。商業振興は市の発展には必要不可欠な要素であるが市長の現状認識と見解は、また商業環境整備の観点から次の事を問う。本町土地区画整理事業の年度内完成・賑わいのある核施設の決定はどうか、地域住民とのコンセンサスはとれているか、園部花火大会が中止となり、住民意識の沈滞が懸念されてい

る。街・商業の活性化には意味のある行事と思うが対応策は。
市長 区画整理事業は平成23年度完成に向けて事業推進する。賑わいの施設は商工会・まちづくり協議会・行政の三者で準備会を持ち議論する。地域住民との話し合いもこの場で協議する。花火大会は商工会の事業ではあるが、出来る限り協力したい。
市政懇談会の継続は
問 総合振興計画・行財

政改革の具体的内容説明と市民の直接的意見を聞く機会の設定は意義あることであった。また市民と市長が直接対峙することの必要性を認識した。懇談会は回を重ねてこそ市民・行政相互の信頼関係も構築できると思う。今後の継続開催について伺う。
市長 意義深い事業であり形態は検討し、今後も実行する。
公園に公衆トイレを
問 園部公園テニスコー

トは多数が活用しスポーツ振興に寄与している。また、隣りに防災公園が完成するが、両公園にはトイレが設置されていない。公共の場所、特に多くの市民が利用する施設では公衆トイレの設置は重要な施策である。市長の考えを伺う。
市長 利用者の意見・要望をふまえ精査し検討する。

移動通信用鉄塔（知見局）



早急に携帯電話不通話エリアの解消を

丹政クラブ 末武 徹 議員

できる限りの努力をする **市長**

ふるさと納税制度の導入を
問 最近、京都府をはじめ、府内の市町村では「ふるさと納税制度」を導入し、目的をもった基金条例を制定し、地域振興を図ろうとする動きが出始めている。本市においてもこの制度を本気で検討し、導入してはどうかと考える。基金の使途は、河川環境保全あるいは、村祭り等での奉納芸能の維持・保存にしようとはどうか。市長の見解を伺う。

市長 基金を創設せず、寄付金の形で取組を進めたい。
防災行政無線整備事業の進捗状況を伺う
問 今年度、美山地内での事業実施が予算化されているが、入札が不調に終わり、まだ工事契約もされていない状況である。災害時等の緊急連絡に大きな役割を果たす防災無線の完成に期待しているところであるが、入札が不調に終わった原因と事

業の今後の見通しについて市長に伺う。併せて、CATVの工事が完了し、テレビ共同受信施設の撤去がされることになっているが、撤去作業を地元業者に任せられる考えはあるのか伺う。
市長 設計の積算に問題があった。再度、設計を行い、早急に事業化できるように努力する。
企画管理部長 市内業者に発注する予定だが旧町エリアを旧町業者に絞って発注するものではな

い。
早急に携帯電話不通話エリアの解消を
問 広範な面積で、山が高い美山地域では、携帯電話が通じない集落が存在している。
市長 補助金等の活用を視野に、できる限りの努力をする。